

# 相良村農業経営改善計画認定申請書

平成 20 年 4 月 1 日

相良村長 徳田 正臣 様

申請者 住 所 相良村大字深水 1-1  
氏 名 相良 太郎 印

電話番号 35-0000

生年月日 昭和 28 年 1 月 1 日

<法人の場合  
設立年月日 年 月 日設立>

農業経営基盤強化促進法（昭和 55 年法律第 65 号）第 12 条第 1 項  
（農業経営基盤強化促進法施行規則 [昭和 55 年農林水産省第 34 号]  
第 13 条）に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

納税申告をされている方の名  
前を記入。

法人は必ず記入。

# 農業経営改善計画

<b>農業経営改善計画</b>						
①目標とする営農類型		たばこ+水稲+麦				
②経営改善の 方向の概要		たばこの規模拡大、麦の導入で所得向上を目指す。 講習会などで複式簿記記帳を習得する。				
		(年間農業所得及び年間労働時間の現況及び目標)				
			現 状	目 標 ( 2 5 年)		
		年間農業所得	千円	千円		
③ 農業経営規模の拡大に関する目標		年間労働時間	時間	時間		
		現 状		目 標 ( 2 5 年)		
		作目・部門名	作付面積 飼養頭数	生 産 量	作付面積 飼養頭数	生 産 量
		たばこ	1 5 0 a	3, 9 0 0 kg	1 8 0 a	4, 7 0 0 kg
		水稲	8 0 a	3, 0 0 0 kg	8 0 a	3, 0 0 0 kg
		麦	0 a	0 kg	7 0 a	2, 5 2 0 kg
経営面積合計		2 3 0 a				

営農類型は目標とする作物を全て記入。

今後の改善対策を記入。

・農業所得  
個人 概ね530万円以上  
法人 概ね1500万円以上  
(相良村基本構想より)  
・労働時間  
可能な限り記入。

※追加された項目

所有地・借入地のうち実際に経営している面積を記入。

※農用地の効率的かつ総合的な利用に考慮した計画であること。(生産調整)

5年後までに作付けするもの、作付けをやめるものについても記入。

③ 農業経営規模の拡大に関する目標

区分	地目	所在 (市町村名)	現在		目標(25年)	
			作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量
所有地	田	相良村	100 a		130 a	
	普通畑	相良村	30 a		30 a	
	樹園地					
	計		130 a		160 a	
借入地	田	相良村 錦町	100 a 50 a		150 a 70 a	
	普通畑					
	樹園地					
	計		150 a		220 a	
特定作業受託	作目	作業	現状		目標(25年)	
	水稻	全作業	100 a	4,700 kg	0 a	0 kg
作業受託	作目	作業	現在		目標(25年)	
	水稻	収穫・粉摺り	100 a (4,700 kg)		0 a	
	単純計		100 a		0 a	
	換算後		50 a		0 a	
農畜産物の加工 ・販売その他の関 連・附帯事業	事業名	内容	現状		目標(年)	

貸し付けている面積は除き、地目に関わらず実際に耕作している面積を記入。

他町村に所有地・借入地がある場合も記入。

※ 農業経営基盤強化準備金により農地購入の積立を行う場合は、購入する農地の面積を目標面積に加えること。

・特定作業受託  
販売名義を有し、且つ、販売収入の処分権を有する作業受託について記入。それ以外は作業受託欄に記入。

※追加された項目

④生産方式の合理化の目標	機械・施設	機械・施設名		型式、性能、規模及びその台数		
				現 状	目 標 ( 2 5 年 )	
		トラック		1 台	1 台	
		コンバイン		2 条 1 台	0 台 (委託)	
		田植え機		4 条 1 台	0 台 (委託)	
		マニアスプレッター		1 台	1 台	
		管理機		1 台	1 台	
		高架型作業機		1 台	1 台	
		整畦被覆機		1 台	1 台	
		管理機		1 台	1 台	
乾燥室		3 室	0 台 (委託)			
農利用地の条件	現 状		目 標 ( 2 5 年 )			
	ほ場が15a～20a区画で点在しているため、作業効率が悪い		ほ場を集積し作業効率を上げる			
作目・部門別	作目・部門名	現 状		目 標 ( 2 5 年 )		
	たばこ	乾燥を自分でやっている		乾燥を委託する 整畦被覆機を更新する		
	水稻	全て自分で作業		一部を委託する		
⑤経営管理の合理化の目標		現 状		目 標 ( 2 5 年 )		
		簡易記帳で複式簿記記帳を行っていない 青色申告ではない		講習会などに参加して複式簿記記帳を習得する。 青色申告を実施		
⑥農業従事の態様等の改善の目標		休日は定めていない 農繁期の雇用をしていない		休日を家族で話し合って決める 農繁期の臨時雇用を行う		

機械・施設は現状維持する機械であっても記入。共同利用や委託の場合はその旨を記入。

※ 農業経営基盤強化準備金により機械購入の積立を行う場合は、購入する機械を必ず記入しておくこと。

ほ場の現状(面積等)についても記入。

作付け体系などの作目別の合理化の目標を記入。目標達成のために購入する機械があれば記入。

経営改善の目標		措 置					
⑦ 目標を達成するためにとるべき措置	・農地の規模拡大	・農業委員会より条件の良い農地をあっせんしてもらう。					
	・生産方式の合理化	・有利な補助事業を利用して機械の更新を行う。					
	・経営管理の合理化	・たばこの乾燥・水稲の一部作業を委託し、作業の合理化を図る。					
	・農業従事態様等の改善	・ほ場が点在し作業効率が悪いいため、隣接している遊休農地などを耕作地として集積する。					
・農地の効率的、総合的な利用	・複式簿記記帳講習会へ参加し、習得する。						
		・青色申告の実施。					
		・休日を家族間で決定、農繁期には臨時雇用をして労働時間の短縮を図る。					
		・生産調整を考慮した作付けを行う。					
農 業 労 働 力	氏 名 (家族農業従事者及び 農業生産法人の構成員) ※家族経営協定締結者は、 <input type="checkbox"/> 欄を チェックして下さい。	年齢	代表者との 続柄等 (法人経営 にあって は役職)	現 状		見 通 し	
				担当業務	年間農業 従事日数 (日)	担当業務	年間農業 従事日数 (日)
	相良 太郎 <input type="checkbox"/>	55	本人		300		250
	花子 <input type="checkbox"/>	55	妻		250		200
	次郎 <input type="checkbox"/>	30	長男		0		250
	<input type="checkbox"/>						
	常時雇 (年間)	実人数	現 状	人	見 通 し	人	
臨時雇 (年間)	実人数	現 状	0人	見 通 し	3人		
	延べ人員	現 状	0人	見 通 し	5.0人		
(参 考) 他市町村の 認定状況	認定市町村名		認定年月日		備 考		

③～⑥であげた目標を達成するための具体的な方法を記入。

・担当業務  
作目や経理など業務を分けている場合は記入。分けていない場合は全ての作目を記入。

※追加された項目

1人の労働時間は1日8時間として計算。労働時間の削減に努める。

5年後には従事していない、している(見込まれる)場合も記入。

⑥に雇用目標をあげた場合は記入。